

愛知工科大学自動車短期大学

2025年度 中期目標・中期計画

1. 定員充足率の向上

- ①メーカー・大学編入希望者への組織的な学習支援の整備
- ②ICTを活用した授業の構築 ※「プログラム基礎演習」の開講(オンデマンド型遠隔授業)
- ③学習成果等の可視化
 - 1) 基礎学力向上に向けた学習指導体制の強化
 - 2) 外国人留学生への助言指導体制の強化

2. 帰属収支差額の縮減

- ①早期の赤字解消
- ②私立大学等改革総合支援事業(タイプ1)「特色のある教育の展開」への応募

3. 次世代自動車教育内容の確立(BEV・HV・PHEV・FCV)

- ①自動運転化技術に関する授業の導入 ※「自動運転概論」の開講
- ②電気自動車等(BEV)の整備教育内容の構築
- ③新自動車整備士資格制度に対応したカリキュラムの構築

[A]:ほぼ達成、 [B]:半分程度達成、 [C]:達成できず

◆『大学・短期大学基準協会の評価区分による中期目標・計画の具体的方策』(2025年度)

※区分は2025年度に第4クール評価項目に変更 ※2022(令和4)年度に「大学・短期大学基準協会認証評価」受審[適格]認定

愛知工科大学自動車短期大学 令和7/4/3

目標項目	テーマ	区分	具体的方策	年度					担当部署
				25	26	27	28	29	
I 建学の精神と教育の効果	A 建学の精神	1 建学の精神が確立している。	①教授会・学科会議・教職員連絡会等で話し合いする機会を設け、教職員の共通理解を図る。						教授会／学科会議
			②学生に対して、入学時のガイダンスや毎学期の集会で建学の精神に触れる講話を行う。						学長／副学長／学科長
	B 教育の効果	1 教育目的・目標が確立している。	①教授会・学科会議・教職員連絡会等で「心・技・夢」の具体的な教育内容・方法について話し合う機会を設ける。						教授会／学科会議
			②HPやパンフレットの内容を見直し、より具体的で分かり易い表現にする。						入試・広報委員会／入試広報課
			③教育指針のシンボルマークをHPやパンフレット類へ挿入し拡充する。						入試・広報委員会／入試広報課
			④本学をPRする簡潔な資料を作成する。						教授会／教務委員会
		2 学習成果を定めている。	①愛技会との連携によって、本学の教育に関して、満足度調査や就業上の問題点などの調査を実施する。						学生生活指導委員会
			②学習成果を焦点とする査定（アセスメント）の手法を作る。						FD・SD委員会／教務委員会
			③学習成果を量的・質的データとして測定する仕組みを作る。						自己点検評価委員会／FD・SD委員会／教務委員会
		3 卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針(三つの方針)を一体的に策定し、公表している。	①HP・大学案内・学生便覧等の内容を見直し、より具体的な表記にする。						自己点検評価委員会／教務委員会／入試広報委員会
			②コース制による進路像を具体的に示し、入学者に分かりやすいものにする。						教務委員会／入試広報委員会
	C 社会貢献	1 高等教育機関として地域・社会に貢献している。	①地域企業に職業人としての人材を輩出する。						学生生活指導委員会／キャリア支援課
			②学生会を中心にボランティア活動への取り組みを推進する。						学生生活指導委員会
			③青パト活動の実施と交通安全指導を行う。						学生生活指導委員会／学務課

目標項目	テーマ	区分	具体的方策	年度					担当部署
				25	26	27	28	29	
I 建学の精神と教育の効果	D 内部質保証	1 自己点検・評価活動等の実施体制が確立し、内部質保証に取り組んでいる。	①教育の向上・充実のためのP D C Aサイクルの実施体制を確立する。						自己点検評価委員会／F D ・ S D 委員会
			②自己点検評価する項目や内容、実施体制など具体的方策を策定する。						自己点検評価委員会
			③評価に関する研修会を開催し、評価項目や内容、及び評価結果について情報を共有する。						自己点検評価委員会／F D ・ S D 委員会
		2 教育の質を保証している。	①認証評価、相互評価及び外部評価を織込んだ自己点検評価のスケジュールを作成する。						自己点検評価委員会
			②授業評価を公開する。（図書館に配備）						F D ・ S D 委員会／教務委員会
			③同類の自動車短大との相互評価を実施する。						自己点検評価委員会／評価企画IR室
			④自己点検・評価報告書の発刊（HP上にて公表）						自己点検評価委員会／評価企画IR室
II 教育課程と学生支援	A 教育課程	1 卒業認定・学位授与の方針に従って、単位授与、卒業認定や学位授与を適切に行っている。	①卒業要件、成績評価基準の定期的な見直しをする。						教授会／教務委員会
		2 教育課程編成・実施の方針に従って、教育課程を編成している。	①方針の内外表明と社会的通用性及び定期的点検を行う。						総合企画会議／教授会
		3 教育課程は、短期大学設置基準にのっとり、幅広く深い教養を培うよう編成している。	①シラバスの内容を充実させる。						教務委員会／学務課
		4 教育課程は、短期大学設置基準にのっとり、職業又は实际生活に必要な能力を育成するよう編成し、職業教育を実施している。	①教育課程に合わせた資格取得ができるような年間スケジュールを策定する。						教務委員会／学生生活指導委員会／キャリア支援課
			②輸入車整備実習を構築する。						教務委員会／自動車課
			③IoTモビリティ・コース設置に向けた方法を策定する。						教授会／教務委員会
			④次世代自動車教育内容の確立(BEV・HV・PHEV・FCV)						教務委員会
			⑤新自動車整備士資格制度に対応したカリキュラムの構築						教務委員会
	B 学習成果	1 短期大学及び学科又は専攻課程において、学習成果は明確である。	①年度毎に科目履修の実績を分析し、ガイダンス等での周知を徹底する。						教務委員会／学務課
		2 学習成果の獲得状況を適切に評価している。	①各学期末に各教科ごと学習成果アンケートを取り学習成果の査定（アセスメントシート）を行う。						F D ・ S D 委員会

目標項目	テーマ	区分	具体的方策	年度					担当部署
				25	26	27	28	29	
II	B 学習成果	3	学習成果の獲得状況を量的・質的データを用いて測定する仕組みをもっている。	①成果の測定と達成の可能性について、事前評価法を策定する。					FD・SD委員会／教務委員会
				②「ルーブリック評価法」による学習評価に取り組む。					FD・SD委員会／教務委員会
		4	学習成果の獲得状況の公表に努めている。	①学生個々に「ディプロマ・サプリメント」を卒業時に配布する。					FD・SD委員会／教務委員会
	C 入学者選抜	1	入学者選抜は、公正かつ妥当な方法により、適切な体制を整えて実施しなければならない。	①入学者選抜規定により、教授会において入学者の選考を実施している。多彩な選抜方法についても定期的に見直し検討を図っている。					教授会／入試・広報委員会
		2	入学者選抜に関する情報を適切に提供している。	①学生募集要項やHP内容を見直し、より具体的で分かり易い表現にして提供する。					入試・広報委員会／入試広報課
	D 学生支援	1	学習成果の獲得に向けて教育資源を有効に活用している。	①体験入学生徒に対して在学生在が技術教育支援する。					入試・広報委員会
				②外部機関からの施設使用要請に協力する。					事務局
				③学習支援システム「コーカくん」を有効に活用する。					資格取得指導委員会
				④短期大学図書費を自動車関係図書の購入に集約する。					図書館／ 図書・情報サービス課
				⑤レポート作成等で図書館利用を活性化する。					図書館／教務委員会／ 図書・情報サービス課
		2	学習成果の獲得に向けて学習支援を組織的に行っている。	①学習方法や科目選択のためのガイダンスの充実を図る。					教務委員会／自動車課
				②学生便覧、印刷物の充実を図る。					教務委員会／学務課
				③補習授業等の実施体制の見直しを行う。					教務委員会／自動車課
				④適切な指導助言体制の整備を行う。					教務委員会／FD・SD委員会
				⑤編入学（進学）希望者への支援組織を整備する。					教務委員会／進学指導担当
				⑥上場企業への希望者に学習支援する。					学生生活指導委員会
				⑦外部企業との連携を図り、最新の技術研修を実施する。					学生生活指導委員会／ キャリア支援課

目標項目	テーマ	区分	具体的方策	年度					担当部署
				25	26	27	28	29	
II	教育課程と学生支援	D 学生支援	3 学習成果の獲得に向けて生活支援を組織的に行っている。	①クラブ活動、学園行事、校友会等への支援充実を図る。					学生生活指導委員会／学務課
				②バリアフリー化を意識した改善・改革を進める。 (施設拡充に合わせて充実させる。)					事務局
				③学生寮、宿舍の幹旋等、充実を図る。					学務課
				④カウンセリング体制の周知を図る。					学生相談室／心理士
				⑤学生の意見や要望の聴取体制の見直しと整備を行う。					学生生活指導委員会／学務課
				⑥社会人学生の学習を支援する体制を確立する。					教務委員会／ (総合教育センター)
				⑦学生の社会的活動への評価（ボランティア、地域貢献）体制を確立する。					学生生活指導委員会／ 地域・産学研究協力室
				⑧留学生の日本語教育の支援体制（受入体制の整備）					学生生活指導委員会／ 愛知工科大学外国語学校
				⑨障がい有する学生に対する対応方法の策定					学生生活指導委員会／学務課
III	教育資源と財的資源	A 人的資源	1 教育課程編成・自紙の方法に基づき教員を配置している。	①入学生の定員充足に合わせて教員数の充実を実現する。					教授会／教務委員会
				②職位による専任教員の充足を図る。					教授会／事務局
				③就業規則、選考規程に準拠した教員の採用、昇任を遵守する。					法人本部／教授会／事務局
			2 教員は、教育課程編成・実施の方法に基づき教育研究活動を行っている。	①研究活動の活発化を行う。					教授会／学科会議
				②若手教員の意欲的な取り組みを大学挙げて支援する。					教授会／学科会議
				③グループ研究体制の構築と積極的な参加を促す。					教授会／学科会議
				④個々の研究活動状況の公開化を進める。					紀要委員会（合同）
				⑤外部研究費の獲得を進める。					教授会／学科会議
				⑥グループ研究経費獲得のための積極的な提案や参加を増加させる。					学科会議

目標項目	テーマ	区分	具体的方策	年度					担当部署
				25	26	27	28	29	
III 教育資源と財的資源	A 人的資源	2	⑦本学の自動車整備士養成の教育の体系を見直し、G P（優れた教育実践）等へ申請する取組を行う。						教授会
			⑧研究・研修を行う時間の確保を行う。						教授会
			⑨支援体制や出張旅費の確保などについて現状を分析し、予算確保等の提案を行う。						会計課
		3	①学務業務の見直しや事務処理体制の改善を図る。						学務課
			②事務職員配置の適正化（兼任教員の削減）を進める。						事務局
		4	①シラバスチェックを全教職員、学務課職員で行う。						教務委員会／学務課
	B 物的資源	5	①FD・SD委員会を中心に研修報告会等を実施し向上を図る。						FD・SD委員会
		6	①就業に関する諸規程の整備（明文化）と教職員への周知を図る。						法人本部／事務局
		1	①校地・校舎の充実を図る。						事務局
			②図書館設備の充実と施設の整備を進める。						図書館／事務局
		2	①固定資産管理規程等、諸規程の整備、見直しを進める。						法人本部／事務局
			②火災・地震対策等防災対策への体系の整備を行う。						事務局
			③大学全体での地震対策を含む防災対策を充実する。						事務局
			④コンピュータシステムのセキュリティ対策等、安全性の向上を図る。						メディア基盤センター
			⑤設備・備品の省エネ化を推進する。						事務局／法人本部
			⑥学生駐車場に出入庫ゲートを設置し、学生通学車両の安全を確保する。						学生生活指導委員会／学務課／事務局

目標項目	テーマ	区分	具体的方策	年度					担当部署
				25	26	27	28	29	
Ⅲ	教育資源と財的資源	C 技術的資源をはじめとするその他の教育資源	1 教育課程編成・実施の方針に基づき学習成果を獲得させるために技術的資源を整備し、有効に活用している。	①情報技術向上へのトレーニング体制の充実を図る。					教務委員会／資格取得指導委員会
				②情報機器室の開放の拡大を図る。					メディア基盤センター
	D 財的資源	1 財的資源を適切に管理している。		①資金収支・消費収支の均衡を図る。					事務局／法人本部
				②短大の収支の改善を図る。					事務局／法人本部
				③自動車教育教材等を厳選し、研究経費への充当を向上させる。					事務局／教務委員会／自動車課
		2 日本私立学校振興・共済事業団の経営判断指標等に基づき財的資源の実態を把握し、財政上の安定を確保するよう計画を策定し、管理している。		①客観的な経営環境の分析と周知を図る。					事務局／教授会
				②経営情報の公開と共有化を図る。					事務局／法人本部
				③入学定員充足に向けての方策を策定する。					教授会／入試広報課／法人本部
				④施設設備の整備計画を策定する。					事務局／法人本部
				⑤大学独自の奨学金制度を確立する。（企業奨学金の導入21年度～）					入試・広報委員会／入試広報課
				⑥姉妹校入学優遇制度を拡充する。					入試・広報委員会／入試広報課
				⑦私立大学等改革総合支援事業の特別予算取得に取り組む。					自己点検・評価委員会／評価企画IR室
Ⅳ	短期大学運営とバナンス	A 理事会運営	1 理事長は、学校法人の運営全般にリーダーシップを適切に発揮している。	①リーダーシップの発揮等、指導体制の強化を図る。					法人本部
			2 理事会は法令等に基づき開催され、学校法人の意思決定機関として適切に機能している。	①法人の規模に応じた理事数の確保と理事会の活性化を図る。					法人本部
			3 理事は、法令等に基づき適切に構成されている。	①理事の選任体制の見直し等の検討を行う。					法人本部
	B 数学運営	1 学習成果を獲得させるために、数学マネジメントの確立に努めている。		①リーダーシップの発揮と組織体制の整備を行う。					学長／副学長／教授会
				②学則等の規程に基づいた教授会等の運営体制の見直しを行う。					教授会

目標項目	テーマ	区分	具体的方策	年度					担当部署
				25	26	27	28	29	
IV	C ガバナンス	1	監事は法令等に基づき適切に業務を行っている。	①監事の適切な業務遂行のための、支援体制の充実を図る。					法人本部
		2	評議員会は法令等に基づき開催され、諮問機関等として適切に運営している。	①評議会の役割を再確認する。					法人本部
		3	会計監査人は法令等に基づき適切に業務を行っている。	①中・長期計画に基づいた毎年度の事業計画と予算の決定法について検討し、情報公開する。					法人本部
				②電波学園の中長期計画に連動した短期大学の計画を策定する。					法人本部／教授会
	D 情報公開	1	短期大学は、高い公共性と社会的責任を有しており、積極的に情報を公表・公開して説明責任を果たしている	①中・長期計画に基づいた毎年度の事業計画と予算の決定法について検討し、情報公開する。					法人本部
②電波学園の中長期計画に連動した短期大学の計画を策定する。					法人本部／教授会				

※達成評価： ○:達成 △:取り組んだが達成に至らず ×:未検討又は未着手 ー:取り組みなし